建設者

東京土建一般労働組合
葛　飾　支　部
〒124−0012 葛飾区立石8−34−4
電　話　(5698) １２６１
FAX　(5698) １２６２
発行人　関　根　伸　正

今月の葛飾組織現勢

2022年9月1日現在	4,236人
加　入	67人
転　入	0人
脱　退	32人
転　出	3人
2022年10月1日現在	4,268人

活動者会議に87人が参加
拡大出陣式では43人の持ち寄り

9月3・4日（土・日）の2日間、葛飾支部活動者会議を成田市にあるホテルマイステイズプレミア成田を会場に、87人の参加で開催しました。

日常が通常に戻りつつあるとはいってもコロナ禍での開催のため、8月下旬まで感染拡大状況を確認し、開催のための準備を進めてきました。本会議会場もアクリル板を席ごとに立て、宿泊は相部屋ではなくすべてシングルとするなど、ホテル側にもコロナ感染対策をしっかりと準備していただき開催することができました。宿泊での活動者会議は2014年鬼怒川での開催以来、8年ぶりとなります。

9月3日は、会議の進行は井岡常任を議長として進めました。午前中に及川委員長あいさつ、本部役員の後藤本部常任あいさつ、書記長による基調報告（2022年の前半の報告及び、後半の方針）を行い、その後、本部での分会経験交流集会に参加の青戸分会の東條分会長、岩佐副分会長の2人から参加報告がありました。基調報告については、分会再編や役員定年制などについての質問がありました。

87人が参加した活動者会議（9月３・４日）

葛飾防災学習
水害を学ぶ

午後は、葛飾区地域振興部危機管理課の災害対策係の筒井係長による葛飾における災害と防災の学習会、本部村本副主任書記によるインボイス学習会をすすめました。その後、7つの会場にわかれて分散会を開催。それぞれの会場で所属分会における報告や問題点など様々な意見交換をすすめました。そのうちの1つは、若手だけの分散会会場とし、若手の意見交流を進めました。

夜は、拡大出陣式を開催。土屋組織部長による拡大提案、折笠女性の会会長による乾杯で、交流スタート。分会決意表明では、各分会からの持ち寄りで43人の加入の報告がありました。

9月4日は、午前中に山屋書記次長による動画を見ながらの拡大の方針提案。その後たつみ（村越分会長）・中央（青木分会長）・水元（深津分会長）の3分会からの分会活動報告。その後、成田ゆめ牧場へ移動し、昼食を兼ねてBBQ交流をしました。

今回の久しぶりの泊まりでの会議は、コロナ禍で活動の縮小を余儀なくされ、組合員同士、分会同士の交流ができにくかったこれまでから、コロナ禍以前に活動を戻す大きなきっかけにもなりうる活動となりました。

秋の拡大月間
中間決起　持寄12人

9月から取り組んでいる秋の仲間増やし（拡大）の月間は、9月3日に拡大出陣式を行い、43人の成果からスタートしました。10月1日時点で83人の成果。9月30日の中間決起集会（シンフォニーヒルズ）では、12人の持ち寄りで、月間折り返しで目標50％を達成しました。目標50％達成分会が、たつみ・奥戸・青戸・中央・堀切・細田高砂・柴又・新金町・北水元・幸田・水元の11分会です。

支部目標は152人。支部・分会役員だけでなく、多くの組合員の参加しながらの行動でなければ、この目標数は達成困難です。コロナ禍での取り組みとなりますが、細心の注意を払いながら、可能な限りの行動をして目標達成に向けた取り組みを進めていきます。一人でも多くの仲間を組合に迎え入れるために、未加入の方からの相談があった場合は、東京土建をお勧めしましょう。

組合員数が増えることは組織の力にもつながります。その力は、国保補助金獲得に対する大きな力にもつながります。

多くの仲間を迎え入れて、私たち建設業界の処遇改善に向けた組合要求運動の力にしていきましょう。

【秋の統一行動日】

第6次…10月12・13日
第7次…10月18・19日
第8次…10月26・27日

秋の拡大成果表

	2022年1月1日付	2022年10月1日付	1月比増減	目標数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
たつみ	491	490	−1	17	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
奥　戸	398	396	−2	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
本田立石	325	321	−4	11	●																
青　戸	155	150	−5	5	●	●	●														
中　央	398	380	−18	14	●	●	●	●	●	●	●										
堀　切	262	263	1	9	●	●	●	●	●												
亀　有	373	375	2	13	●	●	●														
細田高砂	379	387	8	13	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
柴　又	180	178	−2	7	●	●	●	●													
新金町	315	304	−11	11	●	●	●	●	●	●											
北水元	200	182	−18	7	●	●	●	●	●												
幸　田	275	273	−2	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
水　元	376	388	12	13	●	●	●	●	●	●	●										
その他	181	181	0	8	●	●	●	●													
合　計	4308	4268	−40	152	９月83人　10月　人 合計＝83人																

秋の拡大　成果表　10月１日現在

1月1日付人員比　マイナス　40人

寅さん

全世界を巻き込み、大きな影響を与え続けている新型コロナウイルス。その対応で、9月26日全国一律で全数把握の見直しという大きな方向転換をはかることになった。葛飾区も例外なく国・都の方針に準じている。葛飾支部で新型コロナウイルス感染の相談から共済申請となった組合員は、9月の申請だけで100件を超えるものになった。この状態で全数把握をやめることには大きな不安が残るが、感染者数は8月をピークに減少しているのも現状である。その上で、組合活動も徐々にできるようになり、住宅デーも感染予防をしながらの開催にこぎつけることができている。分会においても日帰りバスレクなどを企画している分会もあるようだ。

新型コロナウイルスが終息に向かってきたとしても、建設業においては、円安や物資供給の問題はいまだに続いている。倒産件数もそれに比例して多く、今年の業種別件数で飲食業に次いで、建設業は2番目に倒産が多い産業になってしまっている。こんな時だからこそ、頼れる組合が求められる。労働環境の改善に向けた運動は、組合活動の原点である。運動を進めるためには、一人でも多くの組合員が求められる。今まさに秋の拡大月間である。建設国保の補助金確保ハガキ要請運動も、数は力である。私たちの処遇改善をするためにも多くの組合員を迎え入れていこう。

第45回ミニ住宅デー

中央分会3年ぶりの開催

曳舟川親水公園広場　9月11日(日)10時～14時

【教育宣伝部員　私市幸子】この日は曇り、風もあり気温29度と天候に恵まれました。数日前より配布したビラ効果が心配でしたが、分会長のあいさつ後、24名が各部署に分かれ活動開始。

駅前の広場は、早朝野球帰りの子、親子連れの子供たち。工作コーナーで「本立て」や「プランター」作りに熱中してました。

完成後、作品を持ち嬉し顔で、ポップコーンとジュースをもらい、「ヤッター」の一声。

催し物では今年、初参加の若手会員さんの活躍があり、包丁研ぎ、工作等、大助かりでした。

住まいの無料相談ではベテラン佐藤常任が対応し、基礎の土台の補強、雨漏り、階段の手すりの取り付け、壁紙等々。各所とも数件ありました。

悩み相談で悪徳業者に会ったが、難を逃れた方の話もあったそうです。

ミニ住宅デーでしたが、分会の皆さんの活動力はとても頼もしく感じました。

次回も団結して頑張りましょう！お疲れ様でした。

工作コーナーで若手会員さんが活躍

インボイス学習会

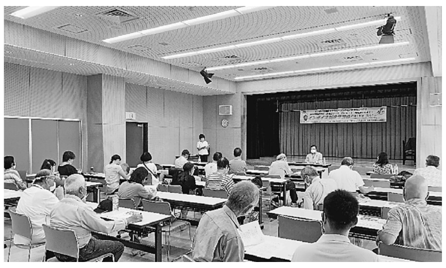
周知と反対の声を

【税金経営対策担当　山澤書記】9月10日（土）に青戸地区センターにて講師に消費税をなくす会常任世話人の慶野靖幸さんを呼びインボイス学習会を開催しました。参加者は12団体・40名の参加（うち土建7名）となりました。

参加者の中には、漫画家や一般サラリーマンなど事業者の方以外にも参加していてインボイス制度が事業者だけの問題ではない事が注目されていると認識できました。

インボイス制度（適格請求等保存方式）は、税務署発行の13桁の通し番号を記載している請求書しか、仕入れ税額控除が出来なくなると言う非常に恐ろしい制度が導入されます。

13桁の番号を貰うためには、消費税課税業者になる条件があります。インボイス制度は来年の10月に導入予定になっております。ですがまだ決定したわけではありません。中小事業者に対し消費税の更なる課税を強いる事を反対するためにも、行動提起として、インボイス制度の廃止を提起する署名や事業者、消費者共にインボイス制度の内容の周知と反対の声を挙げていくことが大切です。



インボイス学習会

組合員全員で取り組む運動

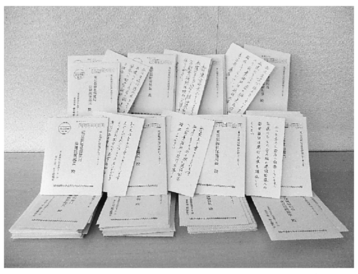
財務省要請ハガキを書こう

6月から始まった来年度の土建国保への補助金確保のための予算要求のハガキ要請行動。多くの組合員・家族のみなさんの協力のもと取り組んでいます。今月・来月は財務省宛のハガキ要請行動です。

8月末に厚労省が財務省に提出した2023年度の概算要求額（国保組合関係予算）は、2022年度比24・6億円増の到達でした。

今月来月は、この厚労省からの概算要求額の減額をさせない取り組み＝財務省宛ハガキ要請行動が重要になります。この運動は、多くの組合員・家族の力で進めていく必要がありますので、ご協力お願いいたします。

ハガキシート組織人員分を目標に取組みを進めます。ただし、新型コロナウイルス感染拡大予防をとりながら、可能な範囲でお願いします。



集まった東京都宛要請ハガキ

区議会全会派へ要請

今年も左記のように葛飾区議会各会派への要請行動を行いました。

・自由民主党議員団9月2日
・葛飾区議会公明党9月6日
・かつしか区民連合8月26日
・日本共産党葛飾区議会議員団9月2日

要請行動は、区からの回答（対区要請は8月3日）をもとに、私たちの要請の趣旨を伝えながら、意見交換をしました。支部からは、及川委員長をはじめ、後藤本部常任、阿久津副委員長の支部役員を中心とした参加でした。各会派とも東京土建葛飾支部との時間を作っていただき、しっかりと意見交換をすることができました。

来年度の予算を組むこの時期に、区と区議会各会派へは私たちの現状を知ってもらい、その要望を伝える取り組みをしています。

会派要請行動（左：自民党　右：共産党）

仲間の作品コンクール

応募しよう

毎年実施している仲間の作品コンクール。葛飾支部組合員からの応募は、毎年のように受賞作品がでています。この仲間の作品コンクールにみなさんも応募してみませんか？応募要綱は下記のとおりです。

【応募要綱】

○文芸部門…短歌、俳句、川柳

※1人1部門5作品まで応募可。

○写真部門…組合活動、スナップ、風景。今年の課題は「私にとっての平和」です。（スマホ写真、デジタルカメラ写真、Ａ4又は六つ切りでの応募）

○締切…12月末（支部業務日まで）

葛飾支部公式LINE登録しよう

葛飾支部公式LINEにはもう登録しましたか？

登録すれば集団健診やイベント情報など組合の情報が定期的に送られますヨ。

登録をして組合の情報をゲットしよう！